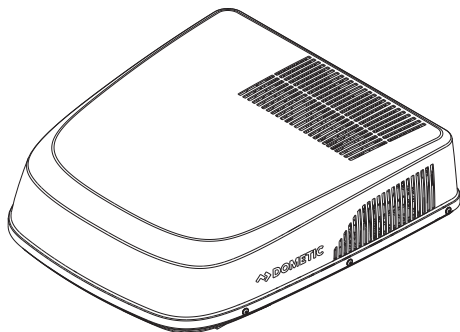


↗ DOMETIC

AC AND VENTILATION

IBIS CORE 3000



Dometic Ibis Core 3000

JA

ルーフエアコン

組立説明書..... 3

Copyright

© 2026 Dometic Group. The visual appearance of the contents of this manual is protected by copyright and design law. The underlying technical design and the products contained herein may be protected by design, patent or pending patent. The trademarks mentioned in this manual belong to Dometic Sweden AB. All rights are reserved.

日本語

1	重要注意事項	3
2	関連書類	3
3	記号の説明	3
4	安全に関する注意事項	4
5	装置上の記号の説明	6
6	同梱品について	6
7	オプション	7
8	対象者	8
9	使用目的	8
10	技術解説	8
11	取り付け	8
12	配線図	25
13	テクニカルデータ	26

1 重要注意事項

本製品の設置、使用、メンテナンスを常に適切に行うために、この説明書をよく読み、本製品の説明書に含まれるすべての指示、ガイドライン、警告に従ってください。これらの説明書は、必ず本製品と一緒に保管してください。

本製品を使用するにあたり、すべての指示、ガイドラインおよび警告を熟読した上で本製品の使用条件を理解し、同意するものとします。お客様は、本製品を意図された目的や用途にのみ使用し、本製品の取扱説明書に記載されている指示、ガイドライン、警告、および適用されるすべての法律や規制に従うことに同意するものとします。ここに記載されている指示や警告に従わない場合、お客様自身または他の人が負傷したり、本製品の損傷、または他の物的損害を与える可能性があります。説明書、ガイドライン、警告、および関連文書を含む本製品マニュアルは、変更および更新される場合があります。最新の製品情報については、documents.dometic.comをご覧ください。

2 関連書類



詳しい取扱説明書はar.dometic.com/bgkDntで参照できます。



3 記号の説明

注意喚起語は、安全に関する注意や物的損害に関する注意、および危険の深刻度を表しています。



危険!

➢ 回避しない場合、死亡または重傷を負う危険な状況を示します。



警告!

➢ 回避しない場合、死亡または重傷を負う恐れのある危険な状況を示します。



注意!

➢ 回避しない場合、軽傷または中程度の怪我を負う恐れのある危険な状況を示します。



注意!

➢ 回避しない場合、物的損害が発生する恐れがある状況を示します。



注意事項 本製品に関する補足情報を示します。

4 安全に関する注意事項

一般安全事項



警告! これらの警告に従わなければ死亡または重傷を負う可能性があります。

- この製品は、安全管理責任者が使用における監督または指示を与えない限り、身体的、知覚的または精神的な能力が低下している、または経験や知識が不足している人（子供を含む）によって取り扱われないものとします。
- お子様が本製品で遊ぶことがないように監督する必要があります。
- 監督者がいないときにお子様に清掃させないでください。
- この製品に穴を開けたり、燃やしたりしないでください。
- この製品の変更および改造を行わないでください！
- 冷媒回路を傷つけないようにしてください。
- 本機の電源コードが損傷している場合は、危険を回避するために、メーカー、そのサービス業者または同様の資格を持った担当スタッフが電源コードを交換する必要があります。
- 冷媒に臭いがない場合があることに注意してください。
- 火災が発生した場合は、本製品の上部カバーを**取り外さないでください**。承認された消火剤を使用してください。消火に水を使用しないでください。
- この製品にイオン発生器が含まれている場合、持病があるお客様は医師にご相談ください。イオン発生器は、少量のオゾン（O3）を発生させる可能性があります。肺疾患、喘息、心臓病、呼吸器疾患、呼吸器の不調、またはオゾン感受性がある場合は、医師にご相談のうえ、この装置の使用が安全かどうかを判断してください。
- この製品の修理は、関連するリスクと関連規制に精通した有資格者のみが実施できます。不適切な修理は、重大な危険を引き起こす可能性があります。修理サービスについては、居住国内のサービスセンターにお問い合わせください（dometic.com/dealerを参照してください）。
- メンテナンスは、機器メーカーが推奨する方法でのみ実施してください。他の有資格者による支援が必要な保守および修理は、可燃性冷媒の使用に精通した者の監督の下で実施するものとします。
- この製品の作業を行うときは、必ず電源を切ってください。
- この製品が取り付けられている場合は、絶対に自動洗濯機に通さないでください。



注意! 破損する恐れ

- この製品は、機械的損傷が発生しないように保管する必要があります。
- この製品は、裸火（ガス器具の作動など）や発火源（電気ヒーターの作動など）を連続的に発生させない部屋に保管する必要があります。
- この製品は、換気された乾燥している場所に水平な状態で、カバーを掛けて保管してください。

取り付け時の安全性



警告! これらの警告に従わなければ死亡または重傷を負う可能性があります。

- この製品は、国の電気および機械的設置に関する規制に従って取り付ける必要があります。
- システムを取り扱ったり高温での作業を行ったりする前に、作業場所が密閉されていないこと、または十分に換気されていることを確認してください。作業が行われている間は、ある程度の換気が続ける必要があります。換気は、放出された冷媒を安全に分散させ、可能であれば外部で大気中に排出する必要があります。
- どのような状況であっても、冷媒漏れの調査や検出の際に、発火源になり得るものを使用しないでください。ハロゲン Torch や裸火を使用するその他の検出器は使用しないでください。冷媒漏れの検出には、電子式漏れ検出器または漏れ検出液（気泡法、蛍光法など）を使用できます。漏れが疑われる場合は、すべての裸火を除去/消火する必要があります。ろう付けが必要な冷媒漏れが見つかった場合は、すべての冷媒をシステムから回収するか、漏れ箇所から離れたシステムの一部に隔離する必要があります。
- ルーフエアコンは、床面積が4㎡より広い車両に取り付ける必要があります。
- 車内に、エアディストリビューションボックスの取り付けや旋回式エアディストリビューションノズルからの冷気の流れを妨げるものがないことを確認してください。



注意! これらの注意を守らなければ軽傷または軽傷を負う可能性があります。

- ハウジングとケーブルが損傷していないことが確実な場合のみ、この製品を操作してください。
- 可燃性液体の近くや密閉された部屋では、この製品を使用しないでください。
- 空気の吹き出し口の近くに可燃物を保管したり取り付けたりしないでください。50 cm以上の距離を空ける必要があります。
- 空気の吹き出し口に手を入れたり、製品内に異物を入れたりしないでください。
- 必ず保護眼鏡と保護手袋を着用してください。



注意! 破損する恐れ

- 取り付けには、車両ルーフ中央の、2つの縦方向のセクションの間にある、十分平らで水平な場所を選んでください。
- 取り付け面のルーフの傾斜が10°を超えないようにしてください。
- 取り付け前に、この製品を取り付けることで車両の部品（ランプ、収納棚、ドアなど）が損傷する可能性があるか確認してください。車両メーカーは、構造部を弱めたり電源ケーブルを切断したりするリスクがないように、この製品の取り付け用開口部を設けられる場所をすでに指定している場合があります。
- 取り付け前に、車両の構造が静荷重および走行中のルーフエアコンの負荷に耐えられる設計になっているかどうか、車両メーカーにご確認ください。
- ルーフエアコンの取り付けにより、車両の文書に記入されている高さを変更しなければならないかどうかは、車両メーカーにお問い合わせください。
- 冷媒回路に不具合が生じた場合は、専門業者による点検と適切な修理を行う必要があります。
- 冷媒を空气中に放出しないでください。
- 修理またはその他の目的（冷媒の除去、切断またはろう付けによる回路の開放など）で冷媒回路を取り扱う場合は、サービスマニュアルに記載されている作業手順に従ってください。
- 冷媒の充填が必要な場合は、サービスマニュアルに記載されている充填手順に従ってください。

- システムから冷媒を除去するときは、サービスマニュアルに記載されている回収手順に従ってください。
- 冷媒回路の作業や取り扱いに関わる人は、業界認定の評価機関から最新の有効な証明書を取得しておく必要があります。この認証機関は、業界で認められた評価仕様に従って、冷媒を安全に取り扱う能力を認定しています。

5 装置上の記号の説明



A2L

Warning!（警告！）低燃焼速度材料。



米国/カナダのみ。Warning!（警告！）火災の危険/可燃性物質



取扱説明書をお読みください。

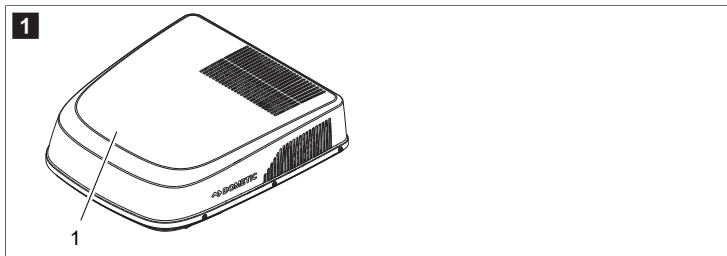


サービスマニュアルをお読みください。

6 同梱品について

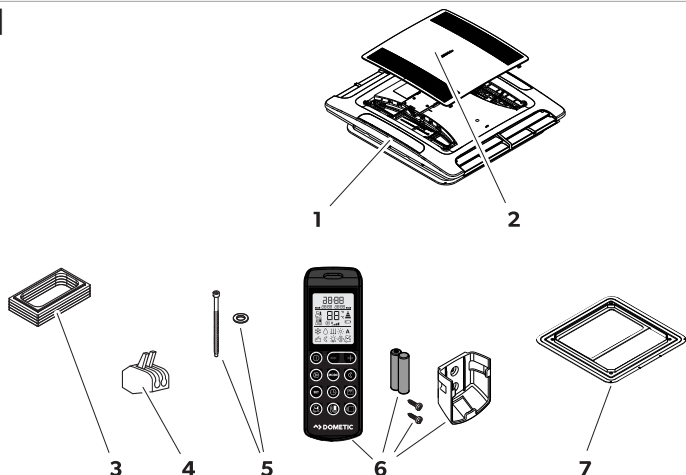
ルーフエアコンは、ルーフトップユニットとエアディストリビューションボックス（ADB）で構成されています。

ルーフトップユニット



項目	数量	名称
形 1 (6ページ)	1	ルーフトップユニット

2



項目 □形 2 (7ページ)	数量	名称
1	1	ADB
2	1	ADBセンターカバー
3	4	ダクト部
4	4	ケーブルコネクター
5	4	固定ボルト
6	1	リモートコントロール
	2	電池
	2	取り付けブラケット用固定ねじ
	1	リモートコントロール用取り付けブラケット
7	1	ルーフフレーム

7 オプション

オプションとして提供（製品には含まれていません）：

名称	商品番号
延長ダクトキット（4つのダクト部を含む、ルーフ厚さ60 ... 100 mm用）	4450035514

名称	商品 番号
ボルトキットM6×160 mm (ルーフ厚さ60 ... 100 mm用)	4450035513
ADBフィルター	4450036682

8 対象者



機械的設置は、装置の構造と操作、および関連する危険に精通した有資格者が実施する必要があります。



装置の電氣的設置および設定は、電気機器や設備の構造および操作に関して実証されたスキルと知識を持ち、機器が設置または使用される国の適用規制に精通し、関連する危険を認識し回避するための安全教育を受けた有資格者が行う必要があります。その他のすべての作業は、プロ以外のユーザーも対象となります。

9 使用目的

ルーフエアコンは、キャラバンやレクリエショナルビークルのルーフに取り付けて使用し、冷暖房を提供することを目的としています。

ルーフエアコンは、電車、住宅、アパートには**適していません**。ルーフエアコンは、建設機械、農業機械、または同様の機器への取り付けには**適していません**。

本製品は、これら指示に従った目的と用途にのみ適しています。

このマニュアルには、本製品の適切な設置および/または操作に必要な情報が記載されています。設置や操作、またはメンテナンスが不適切な場合、満足のいく性能を発揮できず、故障の原因となる可能性があります。

メーカーは、以下に起因する怪我や本製品の損傷について一切の責任を負いません：

- 誤った取り付け、組み立てまたは接続（過電圧を含む）
- メーカーが提供する純正スペアパーツ以外のスペアパーツを誤ってメンテナンスしたり、使用した場合
- メーカーの明示的な許可なしに本製品を改造した場合
- このマニュアルに記載されている以外の目的で使用した場合

Dometicは、製品の外観および製品の仕様を変更する権利を留保します。

10 技術解説

ルーフエアコンは、下記のルーフ厚を有する車両を対象としています。

- 25 mm ... 60 mm ルーフ開口部が 400 mm × 400 mm
- 32 mm ... 60 mm ルーフ開口部が 360 mm × 360 mm

ルーフエアコンは、外気温が-2℃ ... 52℃の範囲内で動作します。ルーフエアコンは、水平面から±10°以内に取り付けるように設計されています。

11 取り付け



危険! 感電の危険

- RVの電源の接続は、電気機器の構造、取り付けおよび操作に関して実証されたスキルと知識を持ち、関連する危険を認識し回避するための安全教育を受けた有資格電気技師によって実行されなければなりません。
- ルーフエアコンの作業を行うときは、インバーターを含むすべての電源を切断してください。

- ＞ 取り付けまたはメンテナンス中は、製品の電源を再接続できないようにしてください。



警告! 感電の危険

- ＞ この製品は、各国の配線規制に従って取り付ける必要があります。
- ＞ この製品が、安全関連の強制換気機能を有する窓やハッチに代わる場合は、安全換気装置（マッシュルームファンなど）を追加する必要があります。不明な場合は車両メーカーにお問い合わせください。



注意! 怪我に注意

- ＞ ルーフエアコンを正しく取り付けないと、この製品が修復不可能な損傷を受けるのみならず、ユーザーの安全が危険にさらされる可能性があります。
- ＞ ルーフエアコンを運んだり持ち上げたりするときは、必ず誰かに手伝ってもらってください。
- ＞ 取り付け前に、取り付けエリア内の既存のワイヤーハーネス、ワイヤー、およびその他の部品の位置を確認してください。特に、製品の取り付け時（穴開け時やねじ止め時）に見えないものを確認してください。
- ＞ 切れたり損傷したりしないように、ケーブルを取り付けて敷設します。
- ＞ 必ず保護眼鏡と保護手袋を着用してください。



注意! 破損する恐れ

- ＞ この製品は、閉じた冷媒回路を備える密閉システムです。適切な資格を持つ技術者以外は、開けたり操作したりしないでください。
- ＞ 鋭利なエッジのある壁にケーブルを通す場合は、ケーブルダクトを使用してください。
- ＞ 導電性のあるもの（金属）の隣で、ケーブルを緩ませたり曲げたりして敷設しないでください。
- ＞ ケーブルを引っ張らないでください。
- ＞ ケーブルが摩耗、腐食、過度の圧力、振動、鋭利なエッジ、その他の環境への悪影響を受けないことを確認してください。また、経年劣化の影響、コンプレッサーやファンなどの発生源による継続的振動の影響も考慮に入れて確認を行ってください。
- ＞ 車両のルーフの構造強度を確認してください。車両のルーフは、へこんだり変形したりすることなく、ルーフエアコンの重量に耐えることができればなりません。不明な場合は車両メーカーにお問い合わせください。

11.1 冷却ニーズの特定

このルーフエアコンは、RVのルーフに取り付けるように設計されています。冷房の必要性を判断する際は、次の要因を考慮してください。

- RVのサイズ。
- RVのウィンドウの面積（熱ゲインを増加させる可能性があります）。
- 壁とルーフの断熱材の量。
- RVが使用される地理的な位置。
- 必要な個人の快適さレベル。

11.2 取り付け場所

標準位置

ルーフトップユニットを既存のルーフベント開口部に取り付けます。

その他の場所

開口部がない場合、またはルーフトップユニットを別の場所に取り付ける場合は、推奨する以下の配置を用いてください。

- **ルーフトップユニットが1台の場合**：ルーフトップユニットを、RVの（前後方向の）中心から少し前方の、左右方向の中央位置に取り付けます。（ 形 **3**（10ページ）の**A**）
- **ルーフトップユニットが2台の場合**：RVの正面から測定し、各ユニットを左右方向の中央位置にします（ 形 **3**（10ページ）の**B**）。
 - 1台目のユニットを、RVの全長（**L**）の1/3の位置に取り付けます。
 - 2台目のユニットを、RVの全長の2/3の位置に取り付けます。

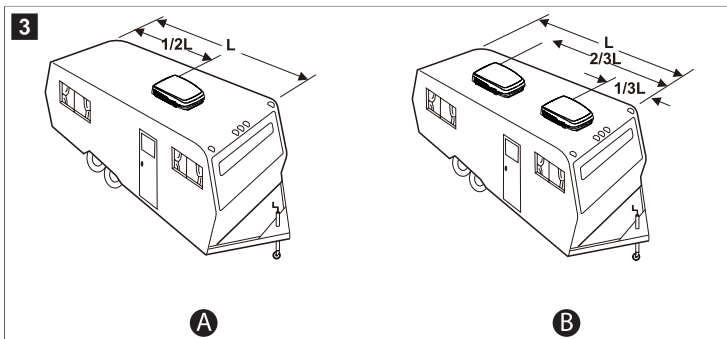


注意事項 2台のルーフトップユニットを取り付けるときは、冷気が跳ね返るのを防ぐために、壁や隔壁に対して十分なクリアランスを維持してください。



注意! 装置の損傷

>（主電源とRV電源の両方からの）電源が、必要に応じて2台のルーフエアコンの同時運転に対応できることを確認します。



注意事項 ルーフトップユニットは、平らで水平なルーフ上の場所に取り付けてください（左右の傾きは 10° 未満であれば問題ありません）。RVを水平な場所に駐車した状態で、すべての測定を行います。

11.3 取り付け前の点検

- 取り付け場所周囲に障害物がないこと、およびルーフ上に換気を行えるだけの十分な距離があることを確認します。
- RVのルーフが、ルーフ上のすべてのアイテムの動的荷重を支えるように設計されていることを確認します。
- 車内を点検し、エアディストリビューションボックスの取り付けや空気の流れを妨げる障害物（ドア開口部、コンパートメントラック、カーテン、ルーフクランプなど）がないか確認します。

物体の高さ < 60 mm		物体の高さ > 60 mm		
4側面すべて	右	左 ¹⁾	後方 ¹⁾	前方
50 mm	150 mm	150 mm	150 mm	150 mm

¹⁾ この文脈における「左」および「後方」とは、車両正面からユニットを見たときの方向を指します。

11.4 RVルーフ開口部の準備



警告! 火災または感電の危険

- > RVにドリルで穴を開けたり切断したりする前に、ガス供給を遮断し、RVから電源を切断し、インバーターをオフにするか切断し、室内のバッテリーから端子を外してください。
- > RVのルーフ内に配線やパイプなどの障害物がないことを確認してください。
- > 適用されるすべての電気規格に準拠した接地を行ってください。



注意! 装置の損傷

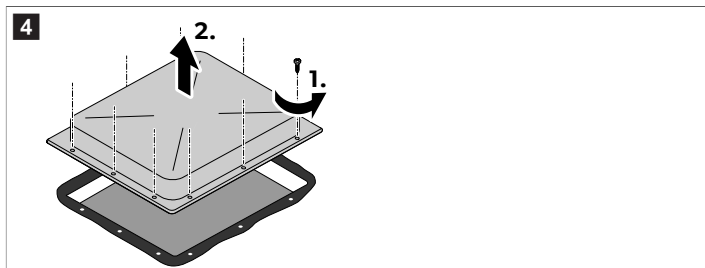
- > RVルーフの構造的完全性を維持し、RVルーフ上に低い場所ができないようにしてください。
- > 指示に従わないと、溜まった水が室内に漏れ、ルーフエアコンや車両が損傷するおそれがあります。

11.4.1 既存のルーフベント開口部の使用



注意事項 ルーフに既存の開口部がない場合は、新しいルーフ開口部を作る（12ページ）に進んでください。

1. 既存のルーフハッチまたはエアコンのねじと固定具をすべて取り外します。

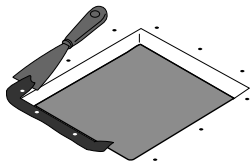


2. ルーフハッチまたはルーフエアコンを取り出します。
3. スクレーパーまたは同様の工具を使用して、開口部周囲のシーラントを除去します。



注意事項 ルーフトップユニットを適切に密閉するには、開口部周囲の30mmにわたる表面が、水平かつ滑らかで異物がない状態でなければなりません。

5



4. ルーフの開口部のサイズを測定します。

- **400 mm × 400 mm** のルーフ開口部の場合：
 - 開口部が405 mm × 405 mmを超える場合は、開口部のサイズを正しい仕様に合わせて縮小します。
 - 開口部が380 mm × 380 mmより小さい場合は、開口部を正しい仕様に合わせて拡大します。
- **360 mm × 360 mm** のルーフ開口部の場合：
 - 開口部が365 mm × 365 mmを超える場合は、開口部のサイズを正しい仕様に合わせて縮小します。
 - 開口部が359 mm × 359 mmより小さい場合は、開口部を正しい仕様に合わせて拡大します。

11.4.2 新しいルーフ開口部を作る



注意事項 ルーフに既存のルーフベントがある場合は、既存のルーフベント開口部の使用（11ページ）を参照してください。

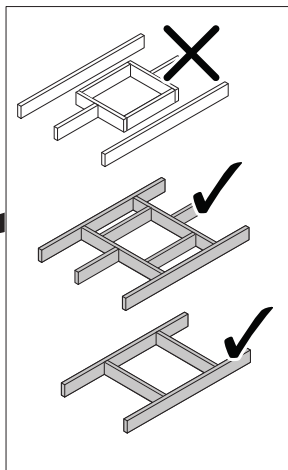
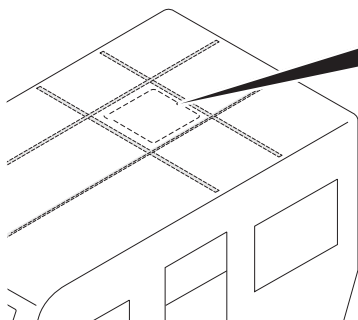


危険! 火災または感電の危険

> 車両のルーフ内に電気配線がある可能性があるため、作業を行う前に電源をオフにする必要があります。

1. 2つの縦方向サポート間にあるルーフ中心部の領域を選択します。

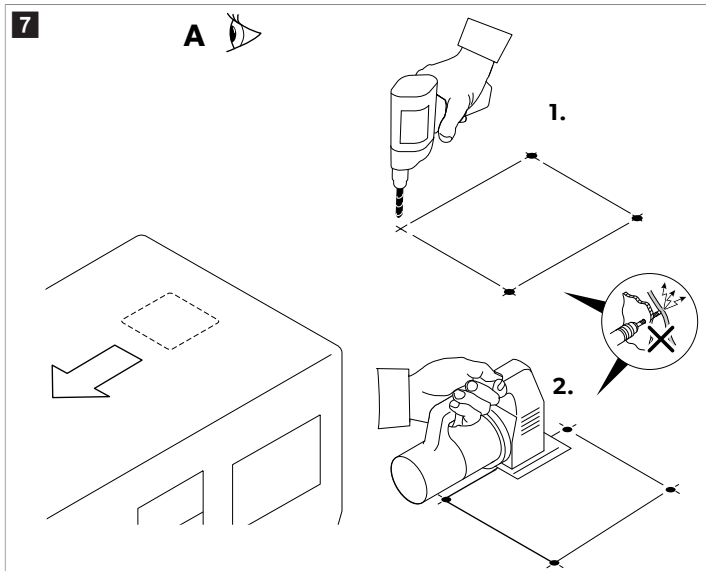
6



2. 開口部の位置とサイズをマークします。



注意事項 ルーフトップユニットを適切に密閉するには、開口部周囲の30mmにわたる表面が、水平かつ滑らかで異物がない状態であればなりません。

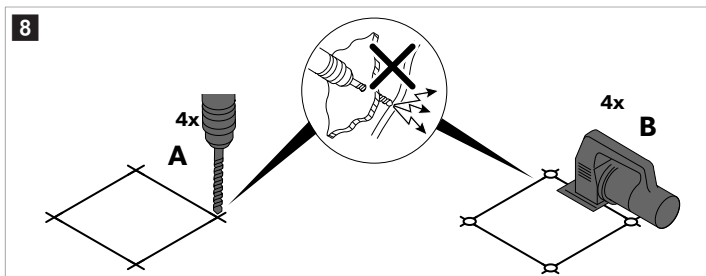


3. コーナー ( 形 **8** (14ページ) の**A**) にドリルで穴を開けます。

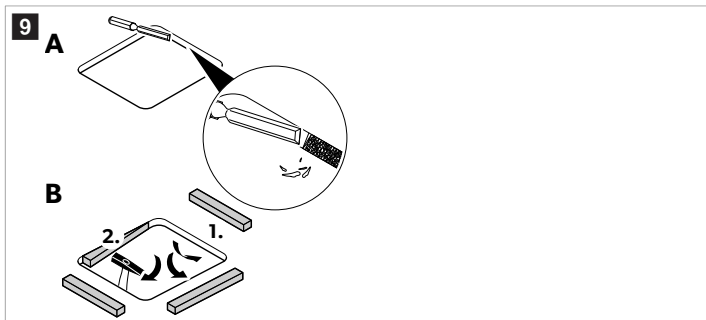


注意! 破損する恐れ

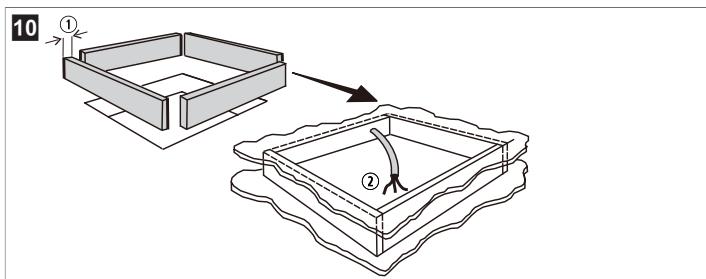
> 電源ケーブルが損傷していないことを確認してください。電気ケーブルの位置を確認してください。



4. キーホールソーまたは同様のツール（**図形 8**（14ページ）の**B**）を使用して、ルーフの開口部を慎重に切断します。
5. ルーフ開口部に補強が必要かどうかを確認します。
6. 必要に応じて、補強レール（納品物ではありません）の幅に合わせてフォームを除去します（**図形 9**（15ページ）の**A**）。



7. 補強レールを取り付けます（**図形 9**（15ページ）の**B**）。
8. フレーム開口部の前面には、取り付けを完了させるのに必要な交流電源配線を引き出すことができるように、アクセス穴を残すかまたは設けます。



① フレーム材の最小幅は19 mm

② 220 V ... 240 V～の電源配線を380 mm引き出す

9. ルーフ開口部をガイドとして使用し、RV車内の天井に対応する穴を開けます。

11.5 RVルーフ開口部の準備



警告! 火災または感電の危険

- ＞ RVにドリルで穴を開けたり切断したりする前に、ガス供給を遮断し、RVから電源を切断し、室内のバッテリーから端子を外します。
- ＞ RVのルーフ内に配線やパイプなどの障害物がないことを確認してください。
- ＞ 適用されるすべての電気規格に準拠した接地を行ってください。

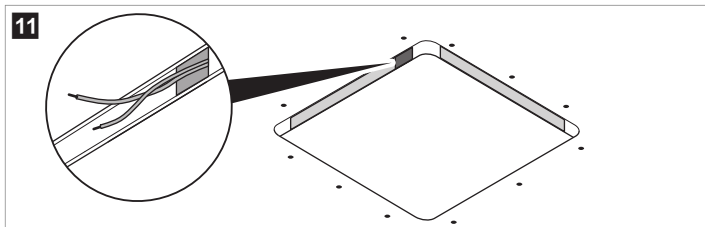


注意! 装置の損傷

- ＞ RVルーフの構造的完全性を維持し、RVルーフ上に低い場所ができないようにしてください。
- ＞ 指示に従わないと、溜まった水が室内に漏れ、ルーフエアコンや車両が損傷するおそれがあります。

11.6 接続ケーブルの敷設

1. ルーフエアコンの定格ラベルに記載されている電圧仕様が、車両の電源電圧と一致していることを確認してください。ルーフエアコンは、必要な電流を供給できる電気回路に接続する必要があります（テクニカルデータ（26ページ））。
2. 取り付け側に全極切断スイッチを取り付けます。安全な切断を確保するために、スイッチには3mm以上の接点ギャップが必要です。
3. ケーブルの太さが、製品の定格ラベルに記載されている最大電流定格に準拠していることを確認します。
4. 電源ケーブルを通すために、片側に開口部を設けます。



5. 電源ケーブルを開口部から車内に通します。

11.7 ルーフトップユニットの取り付け



注意! 装置の損傷

- ＞ ルーフトップユニットを表面に沿って引きずったりスライドさせたりしないでください。そのようにすると、ルーフトップユニットの底部にあるフォームガスケットが損傷し、水漏れにつながる可能性があります。



注意! 持ち上げの危険

- ＞ ルーフトップユニットを持ち上げるときは、適切な吊り上げ方法を用いて管理してください。
- ＞ ルーフトップ部品をルーフまで持ち上げるには、2人で作業する必要があります。

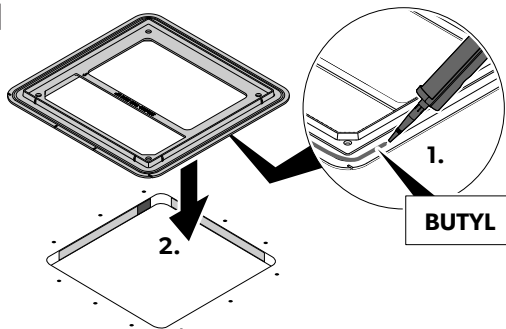
1. 半透明のルーフ&ガターシリコンシーラントを、ルーフフレームの下部周辺に塗布します。接着剤メーカーが提供している取扱説明書を必ずご確認ください。



注意事項

ルーフフレーム上部へのシーラントの塗布は不要です。これにより、ルーフトップユニットの整備が容易になります。

12

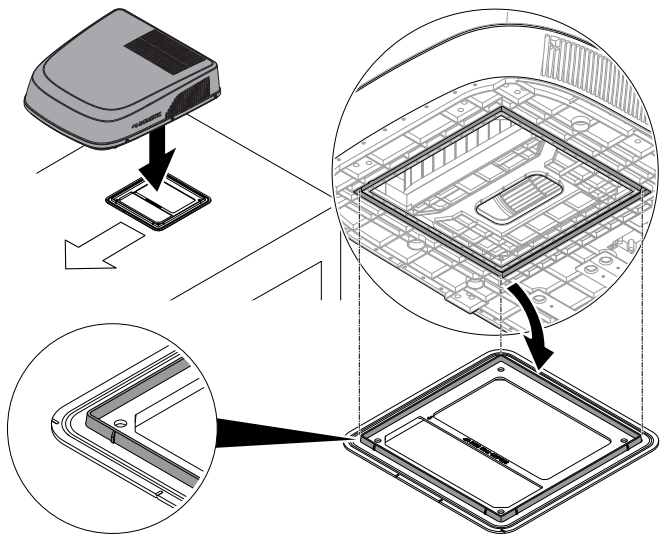


2. 開口部のサイズに合わせてルーフフレームの向きを調整します。
3. ルーフフレームをルーフ開口部に取り付けます。



注意事項 取り付け前に、ルーフフレームの向きが正しいことを確認してください。フレーム上のマークを参照して、正しい側を判断してください。一方の側には360 mm × 360 mmルーフ開口部のラベルが、もう一方の側には400 mm × 400 mmルーフ開口部のラベルが付いています。必要に応じてフレームを裏返します。

13



4. ルーフトップユニットを持ち上げて、車両のルーフに置きます。進行方向を確認します。
5. ルーフトップユニットをルーフフレーム内に入れ、ルーフフレームの溝に合わせます。ルーフフレームの溝に合わせるには、ルーフフレームの前部のコーナーを使用します。



注意事項 外部の作業はこれで完了です。必要に応じて、RVの内側から微調整を行います。

11.8 RV内部での作業の準備

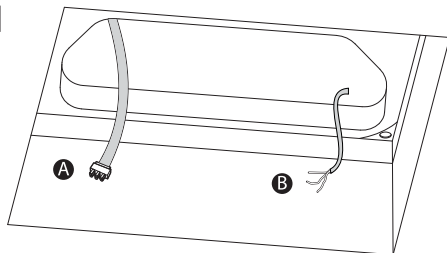
1. ADBキットをRVに持ち込みます。



注意事項 ADBボックスには、内部での取り付けに必要なすべての取り付け金具が含まれています。

2. ルーフトップユニットのリターンエア開口部に手を伸ばし、後で接続するためにルーフトップユニットの電気配線ハーネスを引き下げます。

14

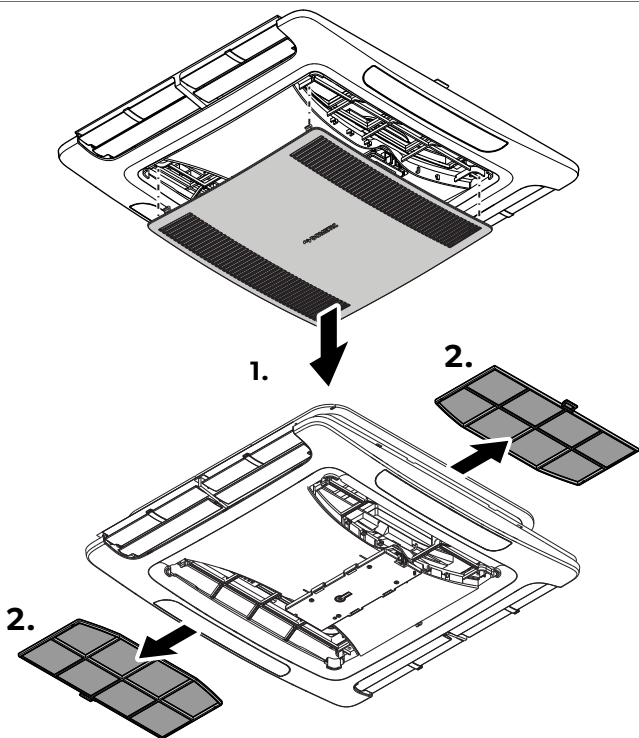


- A 電子制御パネルを接続するためのケーブル
B 220V ... 240V～電源を接続するためのケーブル

3. ADBと取り付け金具を箱から取り外します。

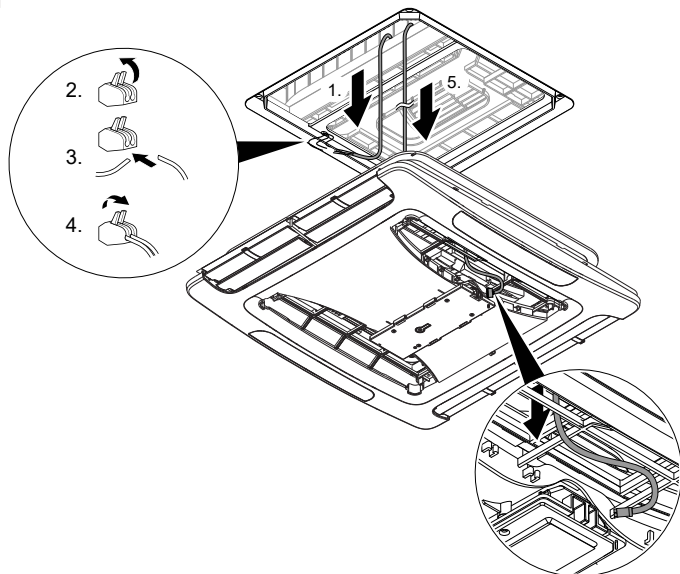
11.9 ADBの取り付け センターカバーとフィルターの取り外し

15



1. エアディストリビューションボックスのセンターカバーを取り外します。
2. フィルターをスライドして外します。

16



1. 電源ケーブル（☐形 16（21ページ）の1）を接続します。

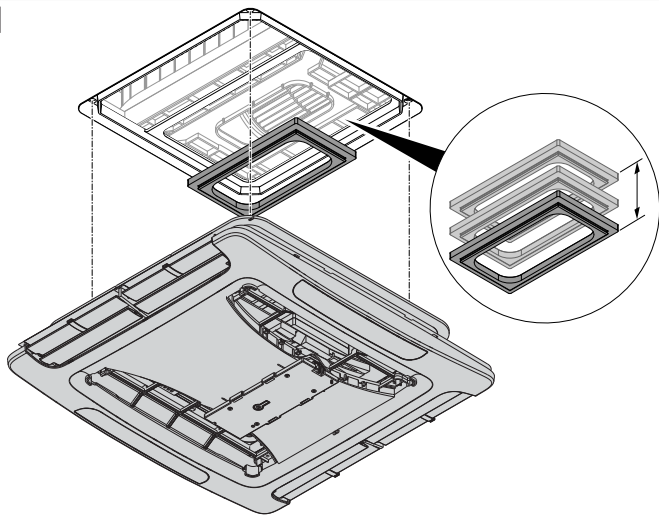
- a) 被覆を剥いだケーブル（a）をケーブルコネクタ（b）に接続します。
- b) ルーフエアコンを電源に接続します。
- c) 接地ケーブルを車両の接地システムに接続します。

2. 通信ケーブルの接続（☐形 16（21ページ）の2）を接続します。

- a) 通信ケーブルを隙間に通し、開口部のワイヤーの位置を確認します。
- b) 通信用の4ピンプラグを、ADBの制御基板側面のソケットに接続します。ケーブルが、フィルターエリアから離れた小さな開口部内にあることを確認します。
- c) 余分なケーブルはホルダーに固定します。

ダクト部の取り付け

- 1. ダクト部を積み重ね、ルーフの厚さに合わせて配置します。ダクトの高さがルーフの高さと一致していることを確認するか、表を目安として使用してください。



ルーフの厚さ	ダクト部の数
25 ... 35 mm	1
35 ... 45 mm	2
45 ... 55 mm	3
55 ... 60 mm	4



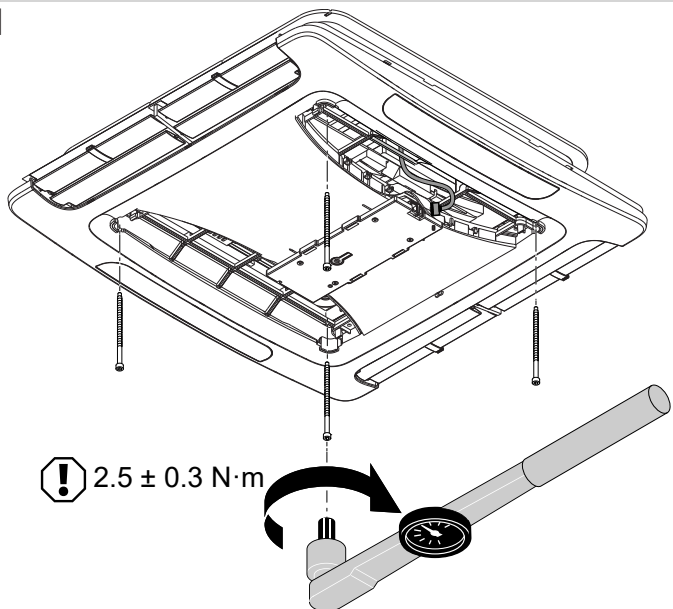
注意事項 ルーフが厚い場合は、ダクト部を追加購入できます。

- 必要な数のダクト部をADBに取り付けます。

ADBの固定

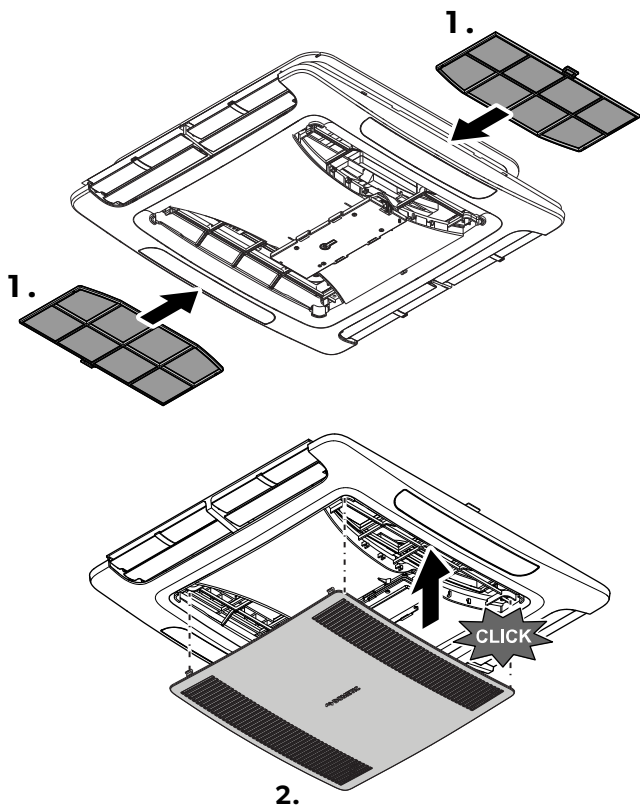
- > 付属している4本のボルトをADBに差し込んでルーフトップユニットまで通し、ADBを天井に固定します。トルクスパナを使用して $2.5 \text{ N}\cdot\text{m} \pm 0.3 \text{ N}\cdot\text{m}$ の締め付けトルクでボルトを締めます

18



センターカバーとフィルターの取り付け

19



1. フィルターを再度差し込みます。
2. センターカバーをADBにクリップで固定します。

11.10 取り付け後の点検

＞ ルーフエアコンの取り付け後に技術点検が必要かどうか、および公式文書に記載されている車高を更新する必要があるかどうかについては、車両メーカーにお問い合わせください。

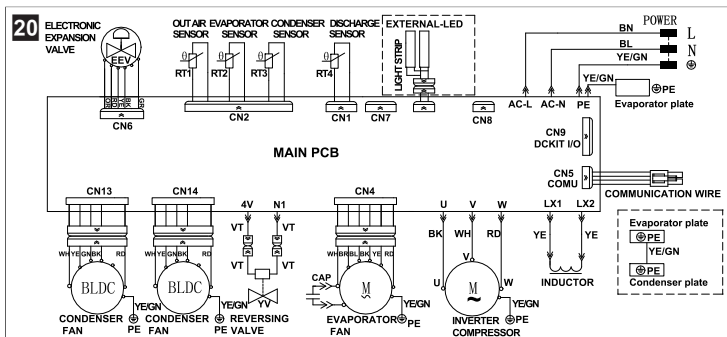
- 高さの増加：225 mm

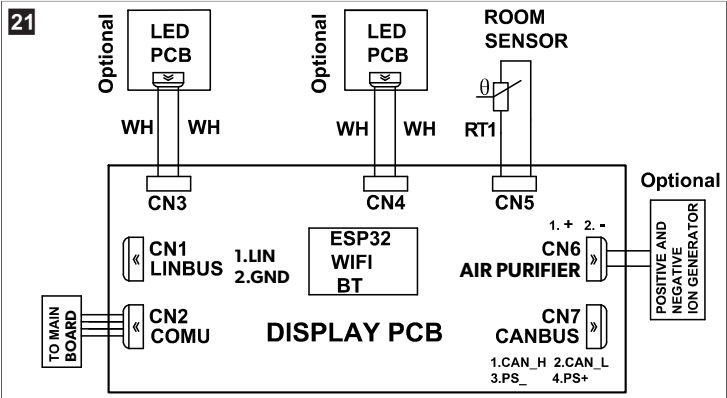
✓ これで取り付けは完了です。

ユニットを電源に接続し、ルーフエアコンが正常に動作することを確認してください。

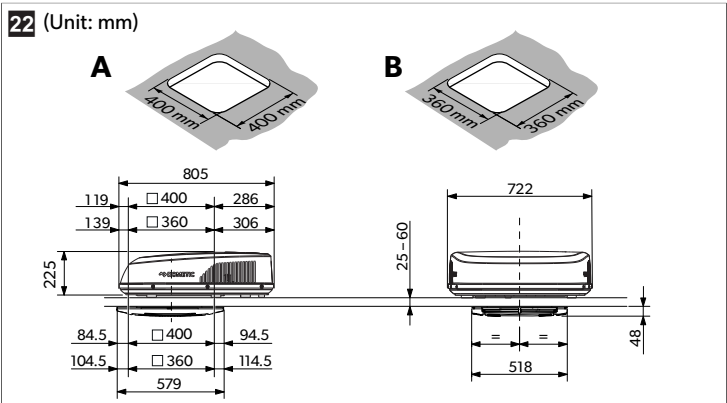
12 配線図

ルーフトップユニット





13 テクニカルデータ
本製品にはフッ素化温室効果ガスが含まれています。
冷却装置は密閉されています。



	ICX7435IHP
冷却能力	3000 W

	ICX7435IHP
暖房能力	2200 W
AC入力電圧	220 V ... 240 V～ / 50 Hz ... 60 Hz
冷房時定格電流	< 6.8 A
冷房時最大電流	< 7.5 A
暖房時定格電流	< 5.1 A
暖房時最大電流	< 7.5 A
必要なヒューズ	10 A
動作温度範囲	-2 °C ... 52 °C
冷媒	R32
冷媒量	420 g
CO ₂ 換算	0.284 t
地球温暖化係数 (GWP)	675
保護等級 (ルーフトップユニット)	IPX5
寸法	 形 22 (26ページ)
正味重量 (ルーフトップユニット + ADB)	< 35 kg
検査／認証	

dometic.com

**YOUR LOCAL
DEALER**

dometic.com/dealer

**YOUR LOCAL
SUPPORT**

dometic.com/contact

**YOUR LOCAL
SALES OFFICE**

dometic.com/sales-offices
